日墨メキシコ留学記(10 月)

後藤瑠花

1. はじめての試験

¡Hola! メキシコに来て 2 か月が経過し、CEPE での学習も 1 学期が終わりました。初めてのメキシコでの学期末試験を経験しました。その際のお話を少し紹介します。試験は全部で 3 日間でした。1 日目は SIELE(Servicio Internacional de Evaluación de la Lengua Española/国際スペイン語評価サービス)という国際的なスペイン語能力検定試験の模擬試験を行いました。2 日目は CEPE の試験(文法と記述、聴解)、3 日目も CEPE の試験(会話)でした。在学時の日本の大学の試験とは異なり、CEPE の試験は記述と会話以外はすべてコンピューターを使用しての試験だったため、とても新鮮でした。ですが、時間通りに始まらなかったり、会話の試験なのに会話する人がいなくても強行突破して一人で試験を始めさせられたり…。「これ大丈夫か…？」と試験内容以外で心配になっていました。テストは何とか終了し、結果も問題なく合格したため、無事に学期休みを迎えることができました。

2. 学期休みの活動

次の学期が始まるまでに 1 週間ほどの休みがありました。周りの日墨研修生はこの期間にプチ旅行に行ったり、授業と重なって体験できなかったアクティビティに参加したりと、様々な体験をしていました。



わたしは、フルタイムでボランティア活動に参加する選択肢を取りました。休みの間でも、たくさんの現地のスペイン語に触れたい、そして経験を早く積んで路上生活者の方々との信頼関係を築きたいという思いが強くあったためです。わたしが参加しているボランティア活動は、主に路上活動を通して様々な境遇にある方々を様々な面からサポートしています。そのため、決まったオフィスが無いのでいつも集合は路上です。まずスタッフと合流することからわたしの仕事は始まっています。時間も決まっていないので、夜遅くに帰ることもあります。そして、同僚であるスタッフもとても親切で、活動中でもいろいろな文化を教えてくれるので、毎日インプット祭りです。スペイン語はまだまだですが、路上の方々が名前を覚えてくれて、わたしを見つけると「Ruka~!!!」と笑顔で寄ってきてくれるので温かい気持ちになります。そしてわたしの活動・勉強のモチベーションにつながっています。どんなことにも積極的に取り組み、早く何かしらの形で彼らや活動自体に貢献できるようになりたいです。

3. イベント

いよいよ、日本でもよく知られている「死者の日」のイベントが近づいています。来月の報告書には死者の日についてお話ししたいと思います。では。¡Hasta luego!

